A：チャネル１におけるインジウム111標準溶液の計数率
B：チャネル２におけるインジウム114m標準溶液の計数率
C_1：チャネル１における試料溶液の計数率
C_2：チャネル２における試料溶液の計数率
D_1：チャネル１における塩化インジウム・塩酸液の計数率
D_2：チャネル２における塩化インジウム・塩酸液の計数率
E：試料の希釈倍数
E_A：インジウム111標準品の希釈倍数
E_B：インジウム114m標準品の希釈倍数

定量法
「塩化インジウム（^{111}In）注射液」の定量法を準用する。

27　塩化インジウム（^{111}In）注射液
本品は、水性の注射剤で、インジウム111を塩化インジウムの形で含む。
本品は、定量するとき、検定日時において、インジウム111の表示された放射能の90～110%を含む。
製法
本品は、塩化インジウム（^{111}In）を精製した後、注射剤の製法により製する。
性状
本品は、無色澄明の液である。
確認試験
⑴　本品について、ガンマ線測定法のGe半導体検出器による測定法により試験を行うとき、0.171及び0.245MeVにピークを認める。
⑵　純度試験⑴により確認する。
pH
1.0～2.5
純度試験
⑴　放射化学的異物　0.5mol／Ｌ塩化ナトリウム溶液を展開溶媒として、薄層クロマトグラフィーにより約10㎝展開して試験を行うとき、塩化インジウム（^{111}In）のスポット以外の放射能は薄層上の総放射能の１%以下である（R_f=0.30～0.40）。
なお、薄層板は薄層クロマトグラフィー用セルロースを用いて調製する。
⑵　異核種　本品について、ガンマ線測定法のGe半導体検出器による測定法の放射能の定量により放射能を測定するとき、検定日時において、インジウム111以外の放射能は総放射能の0.5%以下である。
定量法
本品の適当量について、ガンマ線測定法の放射能の定量により放射能を測定する。

28　塩化インジウム（^{111}In）溶液
本品は、イブリツモマブ　チウキセタンを放射性核種で標識するための水溶液で、インジウム111を塩化インジウムの形で含む。本品は、定量するとき、検定日時において、インジウム111の表示された放射能の90～110%を含む。
製法
本品は、塩化インジウム（^{111}In）を精製した後、注射剤の製法により製する。
性状
本品は、無色澄明の液である。
確認試験
⑴　「塩化インジウム（^{111}In）注射液」の確認試験⑴を準用する。
⑵　純度試験⑴により確認する。
純度試験
⑴　放射化学的異物　薄層板をアンモニア水（28）の上方に５秒間置き、次に塩化ナトリウム溶液（９→1000）を展開溶媒として、薄層クロマトグラフィーにより約15㎝展開して試験を行うとき、塩化インジウム（^{111}In）のスポット以外の放射能は、薄層上の総放射能の３%以下である。
なお、薄層板は薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製する。
⑵　異核種　本品について、ガンマ線測定法のGe半導体検出器による測定法の放射能の定量により放射線を測定するとき、検定日時において、インジウム111以外の放射能は総放射能の0.1%未満である。
定量法
本品の適当量について、ガンマ線測定法の放射能の定量により放射能を測定する。

29　ジエチレントリアミン五酢酸インジウム（^{111}In）注射液
本品は、水性の注射剤で、インジウム111をジエチレントリアミン五酢酸インジウムの形で含む。本品は、定量するとき、検定日時において、インジウム111の表示された放射能の90～110%を含む。
製法
本品は、塩化インジウム（^{111}In）溶液にジエチレントリアミン五酢酸塩溶液を加えてジエチレントリアミン五酢酸インジウム（^{111}In）を生成させた後、注射剤の製法により製する。
性状
本品は、無色澄明の液である。
確認試験
⑴　「塩化インジウム（^{111}In）注射液」の確認試験⑴を準用する。
⑵　純度試験⑴により確認する。
pH
6.0～8.0
純度試験
⑴　放射化学的異物　水／アセトン混液（１：１）を展開溶媒として、ろ紙クロマトグラフィーにより約10㎝展開して試験を行うとき、ジエチレントリアミン五酢酸インジウム（^{111}In）のスポット以外の放射能はろ紙上の総放射能の５%以下である。
なお、ジエチレントリアミン五酢酸インジウム（^{111}In）のスポットは、ジエチレントリアミン五酢酸溶液を同様に展開し、ブロモクレゾールグリーン溶液を噴霧したときの呈色により確認する。
⑵　異核種　「塩化インジウム（^{111}In）注射液」の純度試験⑵を準用する。
定量法
「塩化インジウム（^{111}In）注射液」の定量法を準用する。

30　イオマゼニル（^{123}I）注射液
本品は、水性の注射剤で、ヨウ素123をイオマゼニルの形で含む。本品は、担体として、イオマゼニルを含む。本品は、定量するとき、検定日時において、ヨウ素123の表示された放射能の90～110%を含む。
製法
本品は、キセノン124に陽子を照射して生成するセシウム123及びキセノン123の壊変によって得られるヨウ素123をイオマゼニルのヨウ素原子と置換させた後、注射剤の製法により製する。
性状
本品は、無色澄明の液である。
確認試験
⑴　「ヨウ化ナトリウム（^{123}I）カプセル」の確認試験⑴を準用する。
⑵　純度試験⑴により確認する。